

令和元年度まちづくりを全般とした地域集会（野増）

会 議 録

1. 開催日時及び場所 令和元年7月19日(金) 18時30分～20時00分
野増地域防災コミュニティセンター

2. 出席者

大島町

・三辻 利弘 ・橘田 竹弘 ・谷口 浄
・木中 孝次 ・下村 優 ・川島 正憲
・小坂 恵 ・藤井 充 ・宮崎 智正

住民 9名

3. 次第

1. 開会

1) 意見交換

副町長 定刻になりましたので、ただいまからまちづくり地域集会を開催します。本会を進行させていただきます副町長の橋田です。本会は午後8時終了を予定しておりますので、ご協力をお願いします。

はじめに、町長よりご挨拶をお願いします。

町長 町長の三辻です。皆様には日頃から町行政に何かとご理解、ご協力をいただきまして、この場を借りて厚くお礼申し上げます。

本日の地域集会では、2つのテーマがあります。一つは後期基本計画策定について、もう一つは皆様の声を聞くわかりやすく具体的な仕組みについてです。

まず、後期基本計画についてですが、本年度は、町の長期計画である「第6次大島町基本構想・後期基本計画」の策定の年となります。

この計画を簡単に説明します。町の政策は、地域の公共的な課題を解決する手段であり、この手段を集約したものが基本構想であり、基本構想実現に向けての実施計画が基本計画となります。要は、町の行財政運営の指針となる最上位に位置する計画です。

ちなみに基本構想の計画期間は平成28年度から令和5年度までであり、前期基本計画は平成28年度から平成31年度まで、後期基本計画は令和2年度から5年度までとなります。

従来ですと町が原案を策定し、この原案をもとに住民説明会を開催し、皆様の意見等を聴いて調整のうえ最終原案とし、総合開発審議会にかけ了承を得たうえで、議会に提案・議決というパターンでしたが、過去、原案策定前の白紙の状態で住民の意見を聴いてほしいという声もありましたので、今回は、原案策定の前に皆様の意見等を聴いてみたく、本日の地域集会の開催となった次第であります。

このようなことから、大島全体の課題について、また、地域で困っていることなど、皆様の忌憚のない意見等を頂戴したいと思っておりますので、よろしくお願いたします。

次にもう一つのテーマであります、皆様の声を聞くわかりやすく具体的な仕組みについてです。

今後の行政活動を進めるに際しましては、住民皆様の声を聞くための、わかりやすく具体的な仕組みを作りたいと考えています。

まずは、広報おおしま7月号にも掲載しましたが、広聴ハガキの設置、広く聴くハガキということですが、このハガキを町役場本庁・各出張所、火山博物館、御神火温泉に置いて、皆様の行政に対する意見、要望などの声を聞かせていただければと思います。

そして、今回の地域集会で、皆様の意見を聴きながら、住民皆様の声を聞く、わかりやすく具体的な仕組みを作りたいと考えていますので、どうぞよ

ろしくお願いいたします。

また、例えば老人クラブや婦人会の集会などで、行政のことを聞きたいなどの要請があれば、積極的に行政出前講座的なことも行いたいと考えています。

以上、挨拶とさせていただきます。本日は限られた時間となりますが、積極的な意見等をよろしくお願いいたします。

副町長 ここで出席者の紹介をいたします。

(教育長 谷口、総務課長 木中、政策推進課長 下村 自己紹介)

副町長 それでは、ご意見等ございます方は、挙手にてお願いいたします。

A 氏 後期基本計画策定のためということがあるので、集会前に前期基本計画の進捗状況がわかると、前期はこうだったから後期はこうしようとか一緒に考えられるかなと思います。その方が提案しやすいかなと。

町長 今年度前期の評価中で、この集会での意見と評価を受けて計画のたたき台を構成する予定です。

A 氏 大島町安心安全まちづくり条例というとても良い条例がある。町民等の生活安全に関する総合的な施策の推進に関して、関係機関等と広く協議を行うため町長が開催するものとありますが、現在はあまり活用されていないらしい。この他にも良い条例が色々あるので、ぜひ推進して活用してほしい。上手く活用できれば、何でも町がやれという風潮を住民も一緒になってやるんだよって変えることができるのでは。あと条例に罰則は無いみたいですね。

総務課長 条例等はまだあるので、条例に沿って実施していこうと思います。

B 氏 確かに町まかせ、議会まかせの風潮がある。

近年家族葬が主流になってきている。近所に人が居なくなったので互いに手伝えなくなったから。みんなでやるというのは良いこと。でも難しい。人と人のつながりをつくるのが大切だができなくなってきている。役場の職員の顔をみても分からないし、声をかけあう人間関係もない。努めてやっっていかなければできない。

教育長 そのとおりで、努めてやっていかないとできないので、そういった手助けが必要。場づくりをどうしていくか。個として、行政として、課題です。

町長 人口の減少が原因の一つ。まずは仕事ができる場をつくっていきたい。

A 氏 墓を誰が守るかということにもつながる。介護も同様。でも、どうやれば課題をクリアできるかが分からない。地域と町が連携して安心安全な町づくりをするための何か良い策を。

C 氏 こういった地域のための話し合いにみんなが出てきてくれるような工夫をしないと。もっと気軽に参加できる場があれば。

- 町長 行政に興味を持ってもらうことが必要。特に若い人にどうやって興味を持ってもらうか考えないと。
- A氏 空き家が老朽化して危険な場合どうするのか？
- 副町長 防災対策室から持ち主に通知している。
- C氏 敷地から木が出て危ない場合は？
- 副町長 同様です。
- B氏 行政に興味を持ってといってもなかなか持てないと思う。若い世代の誰かでも、色んなところに顔を出していくことが良い。
とりあえず副町長が現場に行っておき地域と関係をつくって、そこから関係部署に振っていけば良いのでは。例えばみんなで墓掃除する時でも、現場に行っておき人と接し、そこから和が広がる。出かけたなら、食事するところが無いとか気づいたりする。
- A氏 野増教員住宅前の家の人が住み出したが、住民票も移してないし、水道を勝手に使ったり、下水も排水溝が詰まっているのにたれ流したりして、水道環境課が対応してくれたが、これで安心安全なのかなと思う。
王の浜手前の民家で浜の湯によく通っている外国人が一棟貸しで民泊をやっているが、ゴミ出しをどうしているのか分からない。車も歩道に反対車線に入って止めているので危ない。
- D氏 ゴミの出し方等、状況は出張所に話した。管理人ときちんと話をしてゴミ出しとか自主防災とかの指導をしてほしい。
- B氏 消防団前に出しているのでは？あそこは他地区からも捨てに来ている。
- 町職員 出張所も顔を出したが会えなかったが、ゴミ出しについてはチラシを入れておいた。水道環境課も対応してくれている。
- E氏 町が王の浜によしずを買ってくれてありがたい。海水浴場ではなくなっているが利用はけっこうあるので見直してほしい。看板とかアナウンスがあっても良いのでは。
- B氏 同意見。
- A氏 同意見。
- 総務課長 トイレ看板はあっても良いかも。サイクリストもいるので、この先トイレがしばらく無いし。
- E氏 切り通しもトイレが無い。
- A氏 島内はトイレ看板が全体的に少ない。浜の湯の利用者に外国人が増えているので英語標記が必要。
(刺青は禁止だが近年外国人も多くタトゥーとの線引きどうする？)
- A氏 防災コミュニティセンターより下は、雨がすごい時は道路に水が流れて大変。雨水排水の課題をクリアしてほしい。
- 町長 雨水排水の課題については検討中です。

- E 氏 町はお金が無いから大変だね。
- D 氏 道路の維持管理について、以前はお盆時期はこま止めも含めキレイにしていたのでやってほしい。
街灯に影響のある木の枝切りをしてほしい。
サイクリストに対して、切り通しまでの間に何も無いので何か考えてほしい。
- 旧椿野団地跡地はどうするのか？何か観光的なものに活用できないか？
野増には何も無いので、長期的に何か考えてほしい。
- A 氏 戸別収集はどうなったのか？
- 町長 住民アンケートをやった結果、現行なままの方が良いとのこと。自分でゴミ出しができないような高齢者に対して無料で訪問収集もしていますし、無償で貸与している折りたたみボックスも好評です。
- B 氏 集会での回答をしてほしいな。
- 町長 各集会でこういう意見があったということは報告したいと思います。
- D 氏 メモリアル公園ができて復興まつづくりが完成すると、子ども家庭支援センターは移動してしまうの？
- 町長 それは決定しています。
- D 氏 子ども家庭支援センターの運動会など地域で協力して一緒にやっていたから寂しくなるな。
- F 氏 集会には若い世代が出ていないので、自分の SNS で呼びかけている。防災無線で町長自ら呼びかけたら来るのでは？無理であれば、放送原稿を工夫してみても？三役と直接話しができますって言うてみては？三役と話す機会なんてあまりないですし、みんな三役と話ができるなんて知らないのではないかなと。
- 副町長 他に特にないようですので、以上をもちまして、地域集会を終了いたします。どうもありがとうございました。

この会議録は、書記が調整したものである。